(4) 鉄道写真詩コンテストの開催

「鉄道写真詩」は、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道旅の魅力やその旅情を表現する新たな芸術活動として当法人が初めて提唱を行った。

鉄道写真詩コンテストは、その登竜門としての役割を担うもので、国土交通省鉄道局の後援と関係各位のご協力、ご協賛をいただき、自身の写した鉄道写真と自作の詩を組み合わせてホームページから応募する方法で2017年より開催している。応募期間は7月1日より9月30日までの3ヶ月間で、審査は、国土交通省鉄道局長、鉄道写真家の米屋こうじ氏、詩人で社会学者の水無田気流氏、そして当法人理事長の4名があたり、入賞(国土交通省鉄道局長賞、米屋こうじ賞、水無田気流賞、エコトラン賞)各1名と入選者に対して表彰を行っている。

鉄道写真詩コンテストの応募規定は以下のとおり。

応募規定

- ①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表の ものに限ります。
- ②応募点数は一人3点までとします。
 - 3点を超えて応募された場合は先着の3点を審査対象とします。
- ③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります(組写真は不可)。
 - 銀塩写真、デジタル写真、カラー、モノクロの別は 問いません。

画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは 5MB以内(大きい画像は5MB以内に圧縮)とします。 画像ファイルとは、デジタルカメラやスマートフォ ンで撮影した画像データ及びフイルムカメラで撮 影した後スキャナで作成した画像データのファイ ルを指します。

- ④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。
 - ー行詩から、20行以内の詩であって、20字×20行 =400字以内とします。
- ⑤応募は、ホームページ(https://ecotran.or.jp/)の応募フォームから必要事項に入力し、画像ファイルを添付のうえ送信してください。
 - 複数作品(一人3点まで)を応募する場合は、1点毎 に応募フォームから必要事項に入力し、画像ファイ ルを添付のうえ送信してください。
 - なお、応募者の個人情報は選考及び表彰に関する 通知、発表以外には使用しません。
- ⑥応募者は、本コンテストの紹介や記録のために主 催者が応募作品を利用することを認めることとしま す。
- ⑦入賞・入選作品の使用権は主催者側に帰属し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍、パンフレット類、イベント、インターネット、広報等のために必要と判断する利用目的に無償で利用できるものとします。また、作品の一部修正(色合いの変更を含む)・翻案を主催者に認めることとします。
- ⑧応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑨入賞・入選者には、より解像度の高い画像データの 追加提出をお願いする場合があります。

応募に関する注意事項

- ①応募者は主催者の運営方法に従うものとし、その運営方法について一切異議を申し立てないものとします。
- ②被写体の肖像権の侵害、他人の著作権の侵害等の責任は負いかねます。万一、第三者と紛争が生じた場合は応募者自身の責任と費用負担によって解決するものとします。
- ③応募作品を受信した際には、応募受領メールを自動配信いたします。入選の内定その他必要な事項が生じた場合には電子メールでご連絡をいたしますので、主催者からのメール(注)が「迷惑ホルダー」に格納されないよう確認をお願いします。
- (注)発信メールアドレスは、office@ecotran.or.jp
- ④本コンテストサイトの利用または利用不能、メールの到達または不到達により生じる損害については、 主催者は一切責任を負わないものとします。
- ⑤接続料、通信料など応募にかかる費用については、 応募者で自身の負担となります。

表彰

入賞(各賞、表彰状及び副賞20,000円ギフトカード) 国土交通省鉄道局長賞

米屋こうじ賞

水無田気流賞

エコトラン賞

入選(若干数、表彰状及び副賞10,000円ギフトカード)

審査発表/入賞・入選作品の展示

表彰の内定者には、10月中旬に電子メールで通知いたしますので、指定する期日内にご同意のメールを返信ください。ご同意の返信メールをいただいた時点で表彰が確定となります。

期日内に返信メールをいただけない場合は、取り消しとさせていただきます。

審査の結果は、10月31日に一般社団法人交通環境整備ネットワークのホームページ(注)で発表します。

(注)ホームページは、https://ecotran.or.jp/

入賞・入選作品は、鉄道博物館(さいたま市)、東武博物館(東京都)、日本現代詩歌文学館(北上市)及び東北福祉大学・鉄道交流ステーション(仙台市)において展示を行います。

①鉄道写真詩コンテスト2017

鉄道写真詩コンテスト

写真と詩で伝える鉄道の魅力

公募期間 平成29年7月1日▶9月30日(必着)

あなたの撮った鉄道の写真に

あなたの詩を添えてWebからご応募ください



国土交通省鉄道局後援 一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催 協力:鉄道博物館・東武博物館・日本旅行・旅の手帖・交通新聞社

- 1. 作品の応募受付期間: 2017年(平成29年)7月1日~9月30日
- 2. 応募総数 231 作品

3. 表彰

表彰	名 前	題 名	住 所	撮影箇所	年齢
	### ヒロミッ 佐々木博光	白龍	青森県	津軽鉄道 飯詰·毘沙門間	65
米屋こうじ賞	コイケダ カズエ 小池田和恵	トワイライト	大阪府	JR京都線 高槻駅	45
水無田気流賞	シバ ヒテアキ 志波英明	シグナル	大阪府	南海電気鉄道高野線 紀見峠・天見間	17
エコトラン賞	チバ ヒロシ 千葉 洋	最終列車	高知県	土佐くろしお鉄道 西大方駅	52
オオバマサアキ 大場正明		汽車と少年	宮城県	磐越西線 喜多方・山都間	29
	モギ ユカ 茂木夕夏	いつも	北海道	根室本線	26
	ナカモト ノリアキ 中本則昭	遥かなる日々	兵庫県	明治村	68
入 選	ヤマサキ イサオ 山崎 功	秋	茨城県	小海線 小淵沢・甲斐小泉間	64
八迭	まナミ テルアキ 南輝明	坂の上の電停で	神奈川県	函館市電 青柳町・谷地頭間	47
	ムトウ アヤカ 武藤彩香	汽車と水車	栃木県	真岡鐵道 天矢場・茂木間	29
	スズキ ヒロトモ 鈴木啓公	おばちゃんの城	東京都	道南いさりび鉄道 (当時江差線) 釜谷駅	49
	ブジタ ノア 藤田乃愛	閉まる。	静岡県	飯田線 向市場駅	13

4. 作品展の開催

○東武博物館 11月1日(水)~11月30日(木)

11月23日 (木・祝) 同館ホールにおいて13:00~14:00「米屋こうじ&水無田 気流トークステージ-鉄道写真詩コンテスト2017の作品をみる-」を開催。

○鉄道博物館 11月8日 (水) ~11月20日 (月)



鉄道写真詩コンテスト 2017

https://ecotran.or.jp/photo/2017/

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2017 鉄道写真詩コンテスト入賞作品集 写真と詩で伝える鉄道の魅力



白 龍

佐 々 木 博光

(青 森

トワイライ

ŀ

小池田和恵(大阪府

国土交通省鉄道局長賞・



津軽鉄道 津軽飯詰・毘沙門間

ただ見つめているだけだろうか車窓の白い闇を 揺れる車体に身をゆだね 運列乗 転車客士がは が白 注き龍と格闘していることを 1き龍に巻かれていることを 知っているだろうか

米屋こうじ賞・

色

のタイムマシンに乗って



時い 私僕 时を渡ろう いつでも 似たちは

タひ飴 、イムマシンが現れる とすじの流れ星とともに E色の刻(とき)が街をつつ みこ

鉄道写真詩とは

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の持つ魅力を表現するものです。 普段乗り慣れた鉄道、旅先での鉄道、その時々出会った鉄道の表情とともに作者の心情が伝わってきます。

> The Network for Transport and Environment "ecotran" 一般社団法人交通環境整備ネットワーク



水無田気流賞 -

シかか雨 神横シ深 古錆隧赤 グれのの 城び道い 隠圧グ山 、 灯 ナは人向 しにナの をた 望柵まり ル霊がこ の鋼ル驟 は山言う むのたが 唄鉄を雨 じっに をが映が 向わ揺 こずれ まやて集 ح 聞鳴し止 だけいく いくたん た 葉だ こうかる えたも はでに葉 聞 異竹霧を 0) は こえ 人林雨ぎ か 緑 のががら 7 下ざ降り (V りわりと る ため出舐 くしめ 0) 綳 か た行

エコトラン賞 -



土佐くろしお鉄道 西大方駅

春にラ芽 春旅田土 春出桜余 物ぎン吹 物立おの 物合咲韻 語やドき 語いくが 語ち越匂 かセ香 のしい 別季残 なルる 駅の春 れ節る 舎季霞 駅の山 0) 警 舎季々 節 駅 報 節 舎 音

Ŧ. 葉 洋 (高 知

県

最

終

妸

車

グ

ナ

ル

波

英

崩

大阪

府

国土交通省鉄道局後援 一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催 写真と詩で伝える鉄道の魅力 鉄道写真詩コンテスト2017 協力 鉄道博物館・東武博物館・日本旅行・交通新聞社・関東交通印刷 鉄道×文学の新しい表現に挑戦! あなたの撮った鉄道の写真にあなたの詩を添えて

作品は平成29年7月1日から9月30日の間、HP(http://ecotran.or.jp)の応募フォームより受付を行いました。 多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

応募規定

- ①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。
- ②応募点数は一人3点までとします。3点を超えて応募された場合は先の3点を審査対象とします。
- ③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります(組写真は不可)。

- プラストのMECを紹介といたのと、サンスキーテストに関います。METALIA (METALIA) の 動塩写真、デジタル写真、カラー、モノクロの別は問いません。 画像ファイルは、JPEC形式とし、ファイルサイズはSMB以内(大きい画像はSMB以内に圧縮)とします。 画像ファイルとは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像データ及びフイルムカメラで撮影し、スキャナで
- 作成した画像データのファイルを指します。
- ④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行未満の詩であって、文字数は400字以内とします。





真岡鐵道 天矢場・茂木間

走って走って 見える景色はどんなだろう

水車は巡り、汽車は往くガタンゴトン コトンコトン 進んでいく 汽車はガタゴト 回じところを 水車はいつも

入 武 選 藤 彩 香

汽車と水車

栃 木県

道南いさりび鉄道(当時江差線)釜谷駅

ゆったりとした あたたかい時間が流れている

貨物列車が軽快な音を立てて通過してゆく カタンコトン おばちゃんが創り出した世界が広がっていたそこには 手作りの座布団 切符を売っているおばちゃんは編み物をしながら カタンコトン 人形に 折り紙の飾り

木啓公

東 京

鈴選

都

飯田線 向市場駅

僕の口も閉じていく踏切のように この気持ち またいつもと同じ

いつも言えない

焚かれたストーブのそばで おばちゃんがいた 貨車を改造した無人駅の待合室に

「閉まる。」

藤選 \blacksquare 乃 愛

静 岡 県

講評

米屋こうじ Yoneya Koji 鉄道写真家



写真に写された世界を、詩がどのように広げ るのか?詩に込められた物語を、写真がどのよ うな印象に導くのか?本コンテストの審査は、 画期的で楽しい作業でした。

僕が写真を見る時に注意する点として「時間 の流れが写っているか」という項目があります。 過去から未来へ一方的に流れる時間のなかか 一瞬」を切り取って写し込むのが写真です が、今回入賞・入選した作品のなかには、作者がその場所に立ち、シャッターを切るまでの経 緯を含めた「時間の流れ」が感じられる写真が 多く選ばれました。

なかでも、街のビル間に沈む夕陽を捉えた 小池田さんの「トワイライト」は、夕刻の一瞬を、見事な構図と露出で捉えた素晴らしい一枚で す。偶然出会った場面のように見えますが、太 陽の動きを観察し、何度もトライしたのではな いでしょうか。そんな作者が体感した時間の流 れも感じられます。異空間へ導いてくれるよう な「詩」も独創的で、賞に選びました。

水無田気流 Minashita Kiriu 詩人,社会学者

今回、改めて言葉の強度と写真の印象との 組み合わせについて、考えさせられました。

「写真詩」として成功している作品は、やはり 写真と詩が新たな化学反応を起こしているよう に思いました。

圧倒的に視角に訴えかける鉄道写真には、 あまりごてごてとした明喩をつけるのではなく、 隠喩や換喩表現のほうが、作品の空気感には 似合うようです。

私が賞に選んだ志波さんの「シグナル」は、 初連・終連の末尾が脚韻を踏んでいるため、引 き締まった印象の詩で、色彩表現と雨と音響の 対比が鮮やかに描写されているなど、極めて高 度な作品となっていました。

入選作の中では藤田さん「閉まる。」が、削ぎ 落とした表現ゆえの抒情があり、印象に残りま した。

ネットワーク 新し交通環境整備 折し い鉄道

クが新しい鉄道趣味と 交通環境整備ネットワーれ、鉄道写真家の米屋こ一散文詩を添える鉄道趣味 趣味提

者の水無田気流さんが、 うじさんと詩人・社会学 作品の発想法を語り合っ た=写真=。 で、整備ネットワークは 新しい鉄道の楽しみ方と

コンテストを企画し作品 土交通省鉄道局の後援で して、今年6月の地域鉄 賞の国交省鉄道局長賞 を公募、7~9月の募集 の列車に雪煙を白い竜に は、雪原を走る津軽鉄道 品が寄せられた。最優秀 期間に全国から231作 道フォーラムで紹介。国 が、発想が膨らむ場合も 一部が切れた構図のほう

写真詩は写真だけ、詩だ れいに写す必要はない。 詩の写真は、必ずしもき せて詩作するのがベタ 明するのではなく、写っ 持つ表現方法。写真を説 けで表せない相乗効果を ー」、米屋さんも「写直 ていない部分に思いをは

が11月23日、東京都墨田 談形式のトークステージ 真詩」をテーマとした対 して提唱する、「鉄道写

鉄道写真詩は列車や駅

|の東武博物館で開か| の写真に400字程度の

ク。水無田さんは「鉄道 作品を講評する形でトー さん、水無田さんが応募 スト審査員を務めた米屋

森県の佐々木博光さんの 作品「白龍」に贈られ 見立てた詩を添えた、青 ステージでは、コンテ

クは来年もコンテ ストを主催、鉄道 交通新聞社「旅の 物館、日本旅行、 武博物館、鉄道博 コンテストには東 写真詩を広める。 整備ネットワー

2017年12月4日交通新聞

鉄道博物館からのお知らせ

ある」とアドバイ

2017年11月17日

鉄道写真詩コンテスト受賞・入選作品の展示 ご好評につき展示期間を延長します

- ○「鉄道写真詩コンテスト」とは、ご自身が撮影された鉄道写真に、自作の詩を 添えて応募するもので、一般社団法人交通環境整備ネットワークが主催する 写真コンテストです。
- ○11月8日(水)より開催をしておりました「鉄道写真詩コンテスト」は、ご好評に つき、展示期間を12月4日(月)まで延長いたします。

②鉄道写真詩コンテスト2018

国土交通省鉄道局後援

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催

鉄道写真詩コンテスト2018



RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2018

応募期間 平成30年7月1日▶9月30日(必着)

協力:鉄道博物館・東武博物館・日本現代詩歌文学館・東北福祉大学 鉄道交流ステーション

協賛: おなが・ 日本旅行・ 旅の手 前・交通新聞社・関東交通印刷

- 1. 作品の応募受付期間: 2018年(平成30年)7月1日~9月30日
- 2. 応募総数 200 作品

3. 表彰

表彰	名 前	題名	住 所	撮影簡所	年齢
	かまュキ	隠せない思い	東京都	JR伯備線 美袋·備中広瀬間	43
米屋こうじ賞	ヒラノ スタカ 平野史孝	何者だ	兵庫県	山陽新幹線 六甲トンネル新神戸側	63
水無田気流賞	カマクラ バカ 鎌倉 和	熱い日	静岡県	JR飯田線 水窪	12
1 m. Mr.	ササキ グコ 佐々木信子	ゲン担ぎの踏切	青森県	五所川原駅先 五能線・津軽鉄道線踏切	69
	ジバ ヒデアキ 志波英明	透明の彩管	大阪府	南海高野線美加の台・三日市町間	18
	サトウ ジュン 佐藤 純	子どものことば	兵庫県	阪神線 梅田·芦屋間	38
	ヤマザキィサオ 山﨑 功	メール	茨城県	JR小海線 小淵沢·甲斐小泉間	65
入 選	がマュミ 田島佑美	Next Station is	神奈川県	Puffing Billy Steam Railway(オーストラリア)	22
	油谷文恵	どしゃ降り	福島県	会津鉄道 あまや・芦ノ牧温泉間	43
	コバヤシィクコ 小林郁子	都会の森	神奈川県	JR御殿場線 上大井·相模金子間	73
	カミジ マリ 上地茉莉	青い旅	徳島県	江/島電鉄 鎌倉高校前	22
	ッジモト カズオ 辻本一夫	蜩(ひぐらし)の鳴くころ	東京都	JR釜石線 平倉・足ヶ瀬間	54

4. 作品展の開催

- ○東武博物館(東京都墨田区) 11月1日(木)~11月30日(金)
- ○鉄道博物館(埼玉県さいたま市) 11月7日(水)~11月26日(月)

同博物館において、11月17日(土)13:00より「米屋こうじ&水無田気流トークステージ-鉄道写真詩コンテスト2018の応募作品をかたる-」を開催。

- ○東北福祉大学鉄道交流ステーション (仙台市) 11 月 7 日 (水) ~11 月 17 日 (土)
- ○日本現代詩歌文学館(岩手県北上市)11月10日(土)~11月30日(金)



鉄道写真詩コンテスト 2018

https://ecotran.or.jp/photo/2018/

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2018 鉄道写真詩コンテスト入賞作品集 写真と詩で伝える鉄道の魅力



国土交通省鉄道局長賞



ぶりと鼓動は隠せなかっさに × を作ったければ を作ったけれど

ンポンポン

はっ は火照り胸は高鳴っと見上げたその る顔

桜が舞 なび茶 か舞い降りたらりはらりと

V 思 5 岡 本由紀 (東京

JR伯備線 美袋·備中広瀬間

米屋こうじ賞・



山陽新幹線 六甲トンネル新神戸側

ほ奴時 んはに さか何思 と生思 う命う 矜のか は体 持夢で 何か にであ 者 歩あり だ

先に安 へ限住 が真足 変界を 眩価を わを好 しを知 りつま い求ら 続くな けらい るな

走

そ自奴

のらは

の化は れは 者 は度 だ 挑肝 のぬ 始い めな まて てい り現 でれ もた

野 中 兵 あ 庫 県

- 鉄道写真詩とは-

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の持つ魅力を表現するものです。 普段乗り慣れた鉄道、旅先での鉄道、その時々出会った鉄道の表情とともに作者の心情が伝わってきます。

> The Network for Transport and Environment "ecotran" 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

水無田気流賞 -



JR飯田線水窪

な熱こ う遠 静子 電緑 るく びいん んいん かど 車の 熱 さで 込よな てかな にも がし V くあ んくこ 思らに ゆた 通げ 日 だプと 啼ぶ れち っプ熱 るみ 18 てしい 15 るの 0) ル考 V 鎌 るル日 セ 中 たプ のえ かには 3 な 倉 中で も入電 和 しり車 K れたも ル ない が 静 岡 県

エコトラン賞 -



五所川原駅先 五能線・津軽鉄道線踏切

よ一だそめわい少 ゲ い人あれったつしお買う人出すいこ人人 ン れできるしワ祭物つま会れつの 担 日二ももり機かクり とでう違も踏二 ぎ を人渡そ減会年ワ 病昔数人う 切人人 0) 願 つつつもをク子院かえの人つを 踏 い三てとて人重数供 らら数のい渡三三 切 な人こ心しもねえの銀のれ 数つる人人 が なでま て参行ゲた いと ら四く数つ 渡観 ン日 数き四・ 佐 る日 担は 人てえた え 人・ K ぎ好 もてけ 7 木 五 しれ L 日 信 人 まど ま 子 3 (青 ٤ 森 بح 県

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催 国土交通省鉄道局後援 - 写真と詩で伝える鉄道の魅力 -鉄道写真詩コンテスト2018 協賛:クラブツーリズム・日本旅行・旅の手帖・交通新聞社・関東交通印刷 協力:鉄道博物館・東武博物館・日本現代詩歌文学館・東北福祉大学 鉄道交流ステーション

鉄道×文学の新しい表現に挑戦! あなたの撮った鉄道写真にあなたの詩を添えて

作品は2018年7月1日から9月30日の間、HP (http://ecotran.or.jp)の応募フォームより受付を行いました。 多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

- ①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。
- ②写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります(組写真は不可)。
- 銀塩写真、デジタル写真、カラー、モノクロの別は問いません。 画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは5MB以内(大きい画像は5MB以内に圧縮)とします。
- 画像ファイルとは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像データ及びフイルムカメラで撮影し、スキャナで 作成した画像データのファイルを指します。
- ③詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行未満の詩であって、文字数は400字以内とします。

志波英明

(大阪府)

入 佐選

藤 純

(兵庫県)

入 山選 﨑

功

(茨城県)



南海高野線 美加の台・三日市町間

阪神線 梅田·芦屋間

新しい朝が、始まった。

"Next station is...."

車窓の光線はながれていった 眼下、蒼き道床がかすかに揺れる

幻であろうか、陽炎を劃したあまり風

ぼくら大人に思い出させてくれる。問こえないことばが 語らずに伝えてくれる。混じりけのない「好き」ということばを

枝枝が日色を宿す

午前の雨は山脈の彼方 足元の笹は透き通って輝いた 雲は梯子をゆるりとよこした

ぼくらに伝えてくれることばい上のことばを

「今、小淵沢行きに乗ってる。もうすぐ

列車はよそ行き、 しゅーっと風切る 樹々の針が静かな風を誘う 深い長い夜に

子どものことば

「メール」 LINE が届く 終点に着く」

今だ音なき昼下がり 遠き山が光を取り戻す 透明の彩管

じっと列車の灯りを追う。 ファインダーから目を離し この列車に貴女は乗っている!

黒い顔がぴょんと飛び出し、何かの中間地点で 大きな夢を想う

僕の旅は、どんな風を纏う 君の旅は、どこに行く

小さな石が心を突く Puffing Billy Steam Railway(オーストラリア)

手を振る僕が君に見えたなら 僕の心はどしゃ降りだ この青空と一緒だったのに 僕の心も

目だけでも君の姿が見えたなら



JR小海線 小淵沢·甲斐小泉間

僕の心はどしゃ降りだ 空はこんなに青いのに あっという間に列車は走り去った ゴトゴトと大きな音をたてながら 窓辺に君の姿は見えなくて

ここまでやって来たけれどもう二度と会えない君に手を振ろうと

「どしや降り」

(神奈川県)

入選 田島佑美

Next Station is...J

入選 油谷文恵



JR御殿場線 上大井•相模金子間

空を飛んでくる電車がかき分けかき分けかき分けかき分けかき分けかき分けかき分けかき分けかき分けかきがある。

おもちやの自動車一つ不の向こうの向こうの向こうにみえる小さく渡る自転車 絡み合う電線は、線路を誘導し

窓越しに青い世界は更新されていく。朝の光をキラキラ浴びながら

るころ、

時折電車の中に

入る陽は様々に角度を変えて、床を照らす。 誰も気に留めてない、静かな日常。

れど青い世界は、まだ続いていた。

青い世界だった。

空と海が繋がっているような、

蜩の鳴くころ、灼熱の太陽は山あいに

煙が立ち上る

蜩の鳴くころ、お風呂場の煙突からは 蜩の鳴くころ、台所ではまな板の音が

トントンと響く

蜩(ひぐらし)の鳴くころ

汗だくになりながら野山をかけまわ

った一日が終わる

それは遊歩道不思議に交差する 点となり、思い思いに渡る人々さえぎる何十本の踏切の上を

> 青い世界が広がっていた。 ぼんやり顔を上げてみると

聞き慣れない電車の音に揺られながら

微かにみえる隣の駅

はるかにつづくレールの先は

入小選 林郁子 神 奈川 県

上選

青い旅

一地茉莉

(徳島 県

入 辻選

本一

夫

(東京都

江ノ島電鉄 鎌倉高校前

JR釜石線 平倉・足ケ瀬間

鉄道写真家

米屋こうじ Yoneya Koji

講 評

さて明日は何をして過ごそうか? いつもの列車がやって来る そして茶の間が賑やかな声に包まれ

水無田気流 Minashita Kiriu 詩人·社会学者



本コンテストの趣旨である「鉄道写真と詩 のコラボレーション」は、詩が写真の説明に ならないことが大切です。写真と詩の接点が わずかであっても、表現として成立していれ ば良い作品になる可能性があります。

鉄道の「旅情」をモチーフとした作品が多 く見受けられるなかで、私の目にとまったの は、トンネルを飛び出す新幹線を捉えた平 野史孝さんの「何者だ」でした。モノトーンの 力強い写真が、硬派な印象の詩と融合する ことで独特な世界が創作されており、異彩を 放っていました。

鉄道写真詩コンテストも第二回目を迎え、 さらに質の高い作品が数多く寄せられまし た。審査を終えて、写真と詩の相乗効果は "あり"だと確信しました。



今年で2回目になる本コンテストですが、 今回は不思議と、秀作は言葉と作品の「切 り取り方」が近似しているものが目立ちまし た。私が賞に選んだ鎌倉さんの「熱い日」 は、プールからの電車に投げかけられた視 線と、一瞬の感慨が描かれています。終連 で視線は水中に入るのですが、そこは写真 からはみ出した風景ですね。走る写真と時 間のずれ、視線の移動が小気味よく切り取 られた作品となっていました。昨年私が賞 に推した志波さんの詩は、体言止めで潔く 切り取られた言葉が効果的で、これも通過 した電車の風情が読後爽やかに沸き上がっ てくる作品です。

改めて思ったのは、短くても冗長な詩も あれば、長くても思い切りよく切り取られた 詩もある、ということです。詩も写真も、世 界を大胆に切り取る勇気が必要ですね。

米屋こうじ&水無田気流トークステージ

鉄道写真詩コンテスト 2018 の応募作品をかたる

主催:一般社団法人交通環境整備ネットワーク 協力:鉄道博物館

期日: 平成30年11月17日(十)13時~14時

場所:鉄道博物館2F スペシャルギャラリー前 特設ブース

鉄道写真詩コンテストの実施概要を原代表理事より説明の後、コンテストの審査委員を務めていただいた鉄道写真家の米屋こうじ氏と詩人で社会学者の水無田気流氏によるトークステージを開催。

作品の見どころや審査のポイント、更にはカメラワークや詩作にあたっての留 意点を語っていただいた。

プログラム

鉄道写真詩コンテスト 2018 の概要 13:00~13:05

トークステージ 13:05~14:00









③鉄道写真詩コンテスト2019

国土交通省鉄道局後援

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催

鉄道写真詩コンテスト2019



RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2019

応募期間 2019年**7月1日▶9月30日**(必着)

協力:鉄道博物館・東武博物館・日本現代詩歌文学館・東北福祉大学 鉄道交流ステーション

協賛: ・ がなが・ 旅の手 帖・ 交通新聞社・ 関東交通印刷

- 1. 作品の応募受付期間: 2019年(令和元年)7月1日~9月30日
- 2. 応募総数 200 作品
- 3. 表彰

表 彰	名 前	題名	住 所	撮影箇所	年齢
国土交通省 鉄道局長賞	ッジモルズォ 辻本一夫	春の舞台	東京都	JR北上線 ほっとゆだ・ゆだ錦秋湖間	55
米屋こうじ賞	サクラボチョ	遠い夏	東京都	JR肥薩線 八代駅	60
水無田気流賞	キムラクロウ 木村太郎	語る	滋賀県	京都鉄道博物館 扇形車庫	25
エコトラン賞	まズノ マコト 水野 誠	冬の夜のシャボン玉	福島県	津軽鉄道 五所川原駅	61
	オオバマサアキ 大場正明	ホーム	宮城県	東北新幹線 仙台駅	31
	グマムランサミ 玉村雅美	君と一緒に・・・・・	東京都	JR室蘭本線 追分駅	60
	ツチダ ヒサシ 土田 恒	あお	神奈川県	JR花咲線 落石駅	45
入選	クリヘラマサクカ 栗原正隆	空蝉	大阪府	近鉄南大阪線 土師ノ里・藤井寺間	53
八进	カマクラ ノドカ 鎌倉 和	待ち人来たる	静岡県	飯田線 向市場	13
	ナカムツカシ中村高士	夕焼けの向こうに	沖縄県	ゆいレール 旭橋駅・壺川駅間	46
	オカモトユ キ 岡本由紀	下を向いて	東京都	会津鉄道 養鱒公園駅	44
	シバビデアキ 志波英明	千歳の山径	東京都	南海鋼索線 極楽橋駅	19

4. 作品展の開催

- ○東武博物館(東京都墨田区) 11月1日(金)~11月30日(土)
- ○鉄道博物館(さいたま市) 11月6日(水)~11月25日(月)
- ○東北福祉大学鉄道交流ステーション (仙台市) 11 月 9 日 (土) ~11 月 20 日 (水)
- 〇日本現代詩歌文学館(岩手県北上市)11月9日(土)~11月30日(土)



鉄道写真詩コンテスト 2019

https://ecotran.or.jp/photo/2019/

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2019 鉄道写真詩コンテスト入賞作品集 写真と詩で伝える鉄道の魅力



国土交通省鉄道局長賞



IR北上線 ほっとゆだ・ゆだ錦秋湖間

役 が颯爽と現れ 包 W を引き連れ

冬を耐えた山々が再び目を覚ます がて霞 明けとともに春の息吹が溢れだし の緞帳が上がると

静まり返った舞台では

0

辻本一夫

(東京都

遠

V

夏

櫻井路子

(東京都

*米屋こうじ賞・



ボクたちの旅は終わ真新しい紺色のスト いは、 頃降 遠 頃のボクらがいた降り立った駅に い列 夏車 夏を照らすが った。

線路 長い旅 語り明 電遠 車い ・夏、揺 は希望へとつなど派をどこまでも関いかした頑な理想 西ボ られていた。 がったながった。 てし、い、 た

JR肥薩線 八代駅

- 鉄道写真詩とは-

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の魅力や旅情を表現する芸術活動です。 いつもの鉄道、旅先での鉄道、その時々にとらえた鉄道の表情とともに作者の心情が伝わってきます。

Japan Network for Sustainable Transport and Environment 一般社団法人交通環境整備ネットワーク "ecotran"

—— 水無田気流賞 —



京都鉄道博物館 扇形車庫

自勾無今否そ今 全轟た新 そたそ何誰 てくぎた のだれがが ら配音こ れ のでこ とこ はいるな 為 'さ積乗 もこで 見橋語で 過な炎駿 に命えみ客 た梁り生 去なを馬 生ぜ知荷か のき失に 記 `つ敗 景 `続き 死眠 まららか 色隧けて んつ れれず でて 憶熱た北 たる を道るい 語、 鉄ま気 ww へいし り駅 るる 吐 た のまに 息 そ 馬走か 続 のの H 0 かか るけ 3 H

「語る」 木村太郎 (滋賀県)

0)

夜

0)

シ

ボ

玉

水

野

誠

福

島

県

エコトラン賞



津軽鉄道 五所川原駅

綺シた コ指 ま北 んか 麗ヤく ン先 るの なな なボさ コで で夜 音ンん、 ン弾 場雪 に 面の 色玉 とい シ降 をがた 音た に夜 ヤる 出が ボ大 賑コく をら やンさ 会 出 ン粒 えい 玉の かコん L にン雪出、が てく 雪 なっ no K 光 かん しコ降 n てンっ な が なに 当 くコて • 賑 た . 8 れン か か なっ な な いて る か

な

国土交通省鉄道局後援 一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催 鉄道写真詩コンテスト2019 - 写真と詩で伝える鉄道の魅力 -

協力:鉄道博物館・東武博物館・日本現代詩歌文学館・東北福祉大学鉄道交流ステーション

協賛: が ・ 対けた・ 旅の手 帖・ 交通新聞社 ・ 関東交通印刷

鉄道×文学の新しい表現に挑戦! あなたの撮った鉄道写真にあなたの詩を添えて

「鉄道写真詩」は、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の魅力やその旅情を表現する芸術活動です。

本コンテストは、その登竜門としての役割を担うもので2017年に第1回を開催し、 本年で3回目となります。作品は2019年7月1日から9月30日の間、ホームページの 応募フォームより受付を行いました。

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

本コンテストの作品及び過去の受賞作品は、ホームページでご覧いただけます。

https://ecotran.or.jp/photo/2019/





ゆいレール 旭橋・壺川間

夕焼け色の線路を走る 列車は走る

明日の始まりを待ちわびて

差し伸べてくれるから。

陰る坂道の改札に

朱の欄干を遠望す 発着表に旅装行き交い 西の波風聞ゆる夕に 龍王の幻影に共鳴す

今日の終わりを追いかけて

新しい一日が待っている 夕焼けの向こうに

「夕焼けの向こうに」

村高士 (沖縄 県

中選

岡選

「下を向いて」

会津鉄道 養鱒公園駅

水面に何かが映し出されているから。 次が尽きたその瞬間、

枯れ果てるまで泣いてごらん。 下を向いて泣いてごらん。

唐車人を三山に誘う

桜色の掌(てのひら)を いつもは通り過ぎてしまう人たちが 泣いてごらん。

大きな大きな湖ができるまで 下を向いて泣いてごらん。

晩夏の風が露を消し

本由 紀 (東京 都

志波 英明

「千歳の山径

砂利道に立つ人を迎える

里塚に咲く高野箒に

頂の円窓に伽藍煙り 鋼索に這う笹のさざめきに 蒼の灯火を身に宿し

南海鋼索線 極楽橋駅

評

米屋こうじ Yoneya Koji 鉄道写真家



鉄道写真詩コンテストで、ジャッジの基準 としているのは「詩が写真の説明になってい ない」ことです。文章が単なる絵解きであっ ては、せっかくの写真も詩も作品として輝き を放てません。

第3回の今回は、そんな基準ラインをクリ アしている作品が割合として高くなったと感 じました。さらには、写真のレベルが向上し ており、審査にも力が入りました。

そんななか、私が選んだのは櫻井路子さ んの「遠い夏」。映り込みを生かした写真で、 作者独自のカメラ目線があります。ポスター の東北と撮影地の九州が18きっぷを介して 繋がっている……。という裏テーマの存在さ え感じられます。過去に時間軸を置いた詩 も、作品の世界をより広げています。

水無田気流 Minashita Kiriu 詩人·社会学者



鉄道は撮る、乗る、聴く……等、さまざまな楽 しみ方ができますが、写真詩は言葉を詠み込む 「詠み鉄」と読んでおります。今年も、多くの詠 み鉄のみなさまの作品をお送りいただき、誠に ありがとうございました。回を重ねるごとに、み なさまの表現が洗練されてきたように思います。

今回私が選出させていただいた木村太郎さん の「語る」は、博物館にある機関車という、生 活空間から切り離された対象に、その歩んできた 時間や経験を投影した内容です。初連は疑問詞 の連続で緊張感をもたせ、二連の体言止めが韻

の連続で繁張感をたたせ、一連の停責にめか順 律の演切れを良くし、終連末尾で脚韻を備えると いった技法により、写真を重厚に「語る」ことに 成功している作品だと思います。 写真は情報量が多いので、言葉は若干引き算 の感覚でつけた方がしっくりくる場合が多いので すが、もう一歩進めるならば、単に言葉を刈り込 といるとかと、郷廷を変えたり、解しるかとから、 むというよりも、韻律を整えたり、暗喩や換喩表 現などを駆使して「積極的に言葉数を減らし、 その分美的な表現の重厚さを増す」ことを目指 すのも良いでしょう。

(5) 地域鉄道支援

当法人発足のそもそものはじまりは地域鉄道支援にあった。地域鉄道フォーラムやセミナートレイン、鉄道写真詩コンテスト等も地域鉄道のおかれた厳しい現状を一般の方に広く知っていただくために開催を行ってきている。

他方、地域鉄道事業者側にとってはギリギリの要員でかつ限られた資材を用いての運営を行っており、経営企画や営業企画の立案、更には安全の確保のための技術の伝承もままならない状況となっている。

そのため、地域鉄道事業者に対して運賃等営業企画面、土木・電気・車両等技術 安全面や法律の解釈・相談、諸手続き方法等、よろず相談をいただけるよう「地域 鉄道技術安全懇話会」及び「地域鉄道支援アドバイザーチーム」を設置し、相談に 応じている。

①地域鉄道技術安全懇話会

第1回「いすみ鉄道と安全」

日 時:2014年(平成26年)3月27日 15:00~17:00

場 所:船橋商工会議所 303 会議室

ゲスト:いすみ鉄道株式会社社長 鳥塚 亮氏

第2回「ひたちなか海浜鉄道安全対策の現状」

日 時:2015年(平成27年)3月31日 15:30~17:00

場 所:「牛涯学習センターばるーん」304会議室

ゲスト: ひたちなか海浜鉄道株式会社社長 吉田千秋氏

第3回「若桜鉄道の安全対策の現状」

日 時:2016年(平成28年)8月6日 15:00~17:00

場 所:船橋商工会議所 会議室 306 号室 ゲスト:若桜鉄道株式会社社長 山田和昭氏

報告:「重大インシデントかもめ事案」湯田豊人氏

第4回「IR 東海総合研修センターの見学および意見交換会」

日 時:2018年(平成30年)2月28日 15:15~19:30

場 所:IR 東海総合研修センター

ゲスト: JR 東海総合研修センター 所長 早川信二氏

一般社団法人日本鉄道車輌工業会専務理事 佐伯 洋氏

第5回「安全と快適性」

日 時:2019年(平成31年)2月25日 15:00~17:00

場 所:新富区民館4号室

報告:「信号システムの現状とこれから」村田浩一氏

「新型 5000 系車両の設計コンセプト及び同車両を使った京王ライナーの利用状況について」湯田豊人氏

「車両の転覆に影響する要素は何?・車両設計のトレンド」綱島和憲氏



第4回 JR 東海総合研修センターの前で

②ひたちなか海浜鉄道への安全対策支援

2015 年から 2017 年にかけて、ひたちなか海浜鉄道の安全管理規程ほか諸規程の整備、安全体制の構築、社員教育、安全マネジメント、レビューの方法等の安全管理全般にわたってアドバイスを行った。

2015 年度の主な実施項目

職場点検

座学「鉄道従事員の考え方」・「安全マネジメント」

教材作りワークショップ

内部監查規程 • 手順書作成

2016年度の主な実施項目

新人研修

座学「安全管理規程」・座学「ヒヤリハットの仕組み」・「実設訓練要領作成」 実設訓練 7 月 11 日

緊急時行動マニュアル作成

運転実施基準見直し

2017年度の主な実施項目

代用閉そく式変更チェックリスト作りワークショップ

実設訓練シナリオ作りワークショップ

職場点検、添乗指導ガイドライン作りワークショップ

事故事例検討の進め方ワークショップ

運転指令用運転整理マニュアル作成ワークショップ

運転関係従事員向け考査作成ガイドライン作りワークショップ

実設訓練 テロ対策訓練 10 月24 日

③法人会員に対する支援プログラムの強化

地域鉄道事業者のニーズを調査するため、東北鉄道協会の協力を得て、2017 年9月にアンケート調査を実施し、同協会所属会社15社から回答をいただいた。

アンケートにご回答をお願いします

で回答の送付先は、(e-mail) office@ecotran.or.jp

又は (FAX) 03-6811-1112 にお願いします

一般社団法人交通環境整備ネットワークでは、地域鉄道の支援活動を行っております。 その一環として、地域鉄道がお困りのことの中で、法律的なサポートが必要な場合に、 気軽に相談をして頂ける「地域鉄道法律相談窓口」の設置に向けて、検討を行っておりま す。私共のスタッフには、鉄道事業法、鉄道営業法、軌道法等の鉄軌道関係法令の業務に 携わる者、民事、刑事全般に精通した弁護士等がおり、鉄道現場でのお困りごとや、ご要 望をお聞きすることによって、その体制づくりを行って参りたいと存じます。

つきましては、お忙しいところたいへん恐縮ですが、以下のアンケートにご回答協力を お願い申し上げます。

なお、このアンケートの個別内容は一切外に出しません。

回答にご協力いただいた方には項目別に集計した結果を後日ご報告させていただきます ので、どうぞよろしくお願いします。

ご回答者名	
所属	
電話	
e-mail	

集計結果は、以下のとおりとなった。

相談窓口設置に関するアンケート集計結果(回答社数15社)

Q1 弁護士等、法律面で相談ができる人の有無

いる5 (33%) いない10 (66%)

Q2 過去 10 年内に鉄軌道営業上での、交渉ごと、もめごと等で法的措置をとる 必要の有無

具体的には、お客様からの苦情・トラブル等の利用者対応、事故処理対応、騒音等の近隣対応、労務管理対応等で、実際に法的措置をとらなくともそれを検討したことのあるものを含めてその件数(1件で複数相談の場合はそれぞれの件数で計上)。

内容	件数	比率
弁護士への相談件数	10	62.5
警察への相談件数	6	37.5
運輸局への相談件数	0	0
労働基準局への相談件数	0	0
合 計	16	100.0

*不明と回答した事業者1

Q3 Q2の回答中、最近の事例、もしくは最も困難で印象に残った事例について、 その概要と処理方法、結果。

概要

踏切での自動車と列車の衝突事故による保険会社との損害賠償に関する交 渉。

地上権設定者との間のトラブル (事業者勝訴)

Q4 法律相談の必要性を感じる分野(複数回答可)

内 容	件数	比率	備考
利用者対応	8	28.6	
事故処理対応	10	35.7	うち3社が最も必要との回答
近隣対応	4	14.3	
労務管理対応	1	3.6	
安全管理対応	3	10.7	
行政手続対応	1	3.6	
その他	1	3.6	
合 計	28	100.0	

Q5 法律に係る相談窓口が設置された場合の利用の有無。 利用したい6(43%) 利用しない8(57%)

Q6 法律に係る相談窓口の対応について。

簡易なメール対応の場合は無料とし、個別面談のうえ依頼受けて対応する場合の負担可能と思われる金額。

内 容	件数	比率
30,000 円程度まで	2	33.3
50,000 円程度まで		
100,000 円程度まで		
事案によって額を相談したい	4	66.7

アンケートを受けての分析結果

「法的措置をとる必要性が過去に生じたかどうか」と「相談先の有無」の関係 (Q1 と Q2 の関係)

	相談先有	相談先無
法的措置をとる必要が過去に生じた	3	0
法的措置をとる必要が過去に生じなかった	1	10
不明	1	0

「法的措置をとる必要が過去に生じたかどうか」と「相談窓口を利用したいかどうか」の関係(Q2とQ5の関係)

	相談窓口を		
	利用したい	利用しない	未定
法的措置をとる必要が過去に生じた	2	1	0
法的措置をとる必要が過去に生じなかった	4	6	1
不明	0	1	0

「相談先の有無」と「相談窓口利用したいかどうか」の関係(Q1 と Q5 の関係)

	相談窓口を				
	利用したい 利用しない 未定				
相談先有	2	3	0		
相談先無	4	5	1		

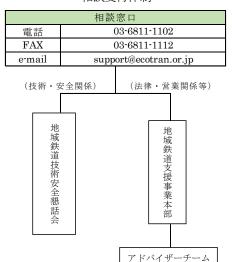
以上の結果から、一定のニーズが存在することが判明した。

理事会で対応を検討し、2018 年度からの法人会費の見直しと併せ、法人会員への支援プログラムの充実を図った。具体的には、以下のとおりである。

- 鉄道事業に係る法律相談受付 ⇒ 弁護士・専門家が相談にお応えします
- 鉄道事業に係る安全制度・安全対策アドバイス
 - ⇒ 地域鉄道技術安全懇話会の組織により各種相談にお応えします。
- ・鉄道事業に係る営業制度・営業戦略アドバイス
- ⇒ 地域鉄道支援事業本部及び地域鉄道支援事業アドバイザーチームが対応 いたします
- 鉄道事業に係る諸情報の収集及び提供等

相談やアドバイスはすべて無料で、何回でもお気軽にご相談ください。 ただし、現地に赴いて具体的対策を講じる等により交通費等の費用が発生する 場合には別途相談の上、実費のご負担をお願させていただくことがあります。

また、地域鉄道事業に関する以下の専用の相談窓口を用意した。



相談受付体制